

医療的ケア児・者等支援促進事業の取組状況について

1 横浜型医療的ケア児・者等コーディネーターについて

医療・福祉・教育分野等の支援を総合的に調整する、横浜型医療的ケア・児者等コーディネーターについて、2020年4月から6か所（磯子、鶴見、南、旭、青葉、都筑）の拠点による18区を対象とした支援を実施しています。2023年度から4か所で複数配置としました。

横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター拠点 ※必要に応じて担当区域外での支援が可能

拠点設置区	担当区域	配置年度
磯子区（1名）	港南区、磯子区、金沢区、栄区	令和元年度
青葉区（2名）	緑区、青葉区	令和2年度
都筑区（2名）	港北区、都筑区	
鶴見区（2名）	鶴見区、神奈川区	
旭区（2名）	保土ヶ谷区、旭区、泉区、瀬谷区	
南区（1名）	西区、中区、南区、戸塚区	

コーディネーター養成研修について

「横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター養成研修」は、国の「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」のカリキュラムだけでなく、医療機関・福祉施設・学校等での実地研修を加えた内容としています。

2 横浜型医療的ケア児・者等コーディネーターの活動実績について

(1) 令和5年度相談支援について

ア 相談件数：延 732 件（内新規 415 件）

<令和5年度>

拠点名	件数	<参考> R4年度	<参考> R3年度
青葉区	105	113	114
都筑区	181	179	81
鶴見区	70	67	57
旭区	91	83	118
南区	173	187	168
磯子区	112	100	121
合計	732	729	659

イ 相談対象者の年齢

- ・「幼児①（1～3歳未満）」が最も多いです。乳幼児期の相談が全体の約6割を占めており、相談ニーズの高さがうかがえます。

<令和5年度>

相談対象者の年齢	新規件数	%
乳児（1歳未満）	68	9.3%
幼児①（1～3歳未満）	201	27.5%
幼児②（4～6歳未満）	181	24.7%
児童①小学生（6～12歳未満）	116	15.8%
児童②中学生（12～15歳未満）	29	3.9%
児童③高校生（15～18歳未満）	56	7.7%
18歳以上	60	8.2%
年齢不明	21	2.9%
合 計	732	100%

《前年》

延件数	%
78	10.7%
129	17.7%
203	27.9%
116	15.9%
43	5.9%
30	4.1%
90	12.3%
40	5.5%
729	100%

ウ 相談者（延べ数）

- ・相談者は、昨年度と同様に「家族」が最も多いですが、割合は昨年度から減少しました。福祉保健センター（区役所）や保育園、相談支援専門員からの相談が、昨年度と比べて増えています。

<令和5年度>

相談者	件 数	%
家族	152	20.8%
病院	125	17.1%
訪問看護ステーション	59	8.1%
福祉保健センター（区役所）	132	18.0%
福祉施設	23	3.1%
保育園	69	9.4%
基幹相談支援センター	14	1.9%
学校	22	3.0%
相談支援専門員	76	10.4%
療育センター	17	2.3%
その他	43	5.9%
合 計	732	100.0%

《前年》

%
27.6%
18.1%
11.9%
10.3%
9.2%
4.9%
4.2%
2.3%
2.3%
1.9%
7.3%
100.0%

エ 相談内容（重複回答可）

これまで「その他」が一番多かったため、令和5年度から相談内容の内訳を変更しました。「保育園」の相談が最多となっています。

<令和5年度>			《前年》
相談内容	件数	%	%
退院調整	79	8.6%	7.4%
医療機関	52	5.6%	6.9%
訪問看護	111	12.0%	11.3%
訪問系サービス	70	7.6%	17.6%
外出支援	14	1.5%	
日中活動の場	69	7.5%	
施設等の一時利用	25	2.7%	
居住支援	30	3.3%	
計画相談支援	39	4.2%	
補装具・日常生活用具	14	1.5%	
レスパイト	38	4.1%	
年齢移行	13	1.4%	
医療的ケア	83	9.0%	
保育園	187	20.2%	17.7%
幼稚園	10	1.1%	
学校	89	9.7%	11.4%
その他	-	-	21.5%
合計	923	100.0%	100.0%

(2) コーディネーターの支援とネットワークづくり

ア コーディネーター定例会

令和5年度はコーディネーターと本市、医師会担当で定例会を月1回開催し、事例検討を通してコーディネーターの役割について再確認を行いました。

イ 地域でのネットワーク形成と普及啓発

関係機関の連絡会や研修会等にコーディネーターが出席し、本事業の普及啓発を行うとともに、関係機関との連携強化や、地域の支援者への助言・技術支援なども行っています。

<令和5年度実績>

- (ア) コーディネーターが出席した連絡会等
 - 区自立支援協議会（重心部会等）
 - 区訪問看護連絡会
 - 区保育園看護師連絡会
 - 区多職種会議
 - 医ケア児・者等家族会
 - 放課後等デイサービス連絡会
- (イ) コーディネーターが訪問した関係機関等
 - 放課後等デイサービス事業所
 - 児童発達支援事業所
 - 重症心身障害児施設
 - 地域活動ホーム
- (ウ) 地域の支援者への助言・技術指導等
 - 保育園
 - 幼稚園
 - 放課後キッズクラブ
 - 基幹相談支援センター
 - 多機能型拠点

3 各種研修の実施状況について

(1) コーディネーターのフォローアップ研修

ア 対象者

横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター 10名

イ 目的

コーディネーターの役割を確認し、活動について振り返る機会をもつ。

ウ 講師

一般社団法人 医療的ケア児等コーディネーター支援協会

エ 日時・場所・内容

実施形式含め調整中

(2) 支援者フォローアップ研修

ア 対象者

医療的ケア児・者支援者養成研修受講者

イ 目的

- (ア) 支援者に継続して地域で活躍してもらうために、支援や連携に必要な、現場で知りたい内容等について伝え、継続的にフォローする。
- (イ) コーディネーターと地域の支援者が顔が見え、連携できる関係を作る。

ウ 日時・場所・内容

下半期に集合形式で調整中

(3) 横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修

ア 対象者

市内訪問看護ステーション所属の訪問看護師、障害福祉サービス事業所、保育園・幼稚園・学校・医療機関等で従事する方の中で医療的ケア児・者等の支援に関心がある方（定員：50名）

※スポット受講は定員を設けず、Zoomでの参加が可能

イ 目的

「横浜型医療的ケア児・者等支援者」として、医療的ケア児・者等支援及び多職種連携についての基礎的知識の習得し、医療的ケア児・者等支援に関する医療・福祉・教育等に関する知識及び関係者との連携について学習する。

※本研修を全講座来場で受講し、修了した方には、「横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修」修了証書を交付します（「要医療児者支援体制加算」の算定要件の一部です）。

ウ 時期

令和6年5月30日（木）から12月14日（土）まで

16講座 全8日間

エ その他

支援者養成研修修了者の所属する事業所等の一覧をホームページ上で公表します。

(4) 横浜型医療的ケア児・者等支援者養成見学実習

ア 対象者

横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修修了者及び横浜市が認める※者

※横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修修了者が所属する施設に従事している職員、医療的ケア児・者の受入れが決定している施設の職員等

イ 目的

横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修修了者等が、必要な知識・技術の習得のために訪問看護ステーション等で見学実習を行い、自身が所属する施設・事業所等において、医療的ケア児・者等の受入れを進める。

ウ 内容

- (ア) 習得したい医療的ケアを実践している訪問看護ステーションの看護師に同行し、医療的ケアの準備から実践、観察ポイントや家族のやりとり等、説明の様子を見学する。
- (イ) 医療的ケア児・者が利用予定の施設に講師である訪問看護ステーションの看護師が伺い、医療的ケアの実践、観察ポイント等についてのアドバイスや情報交換を行う。

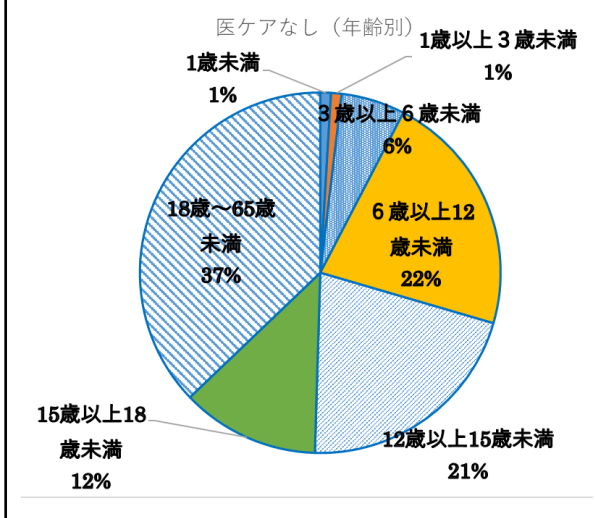
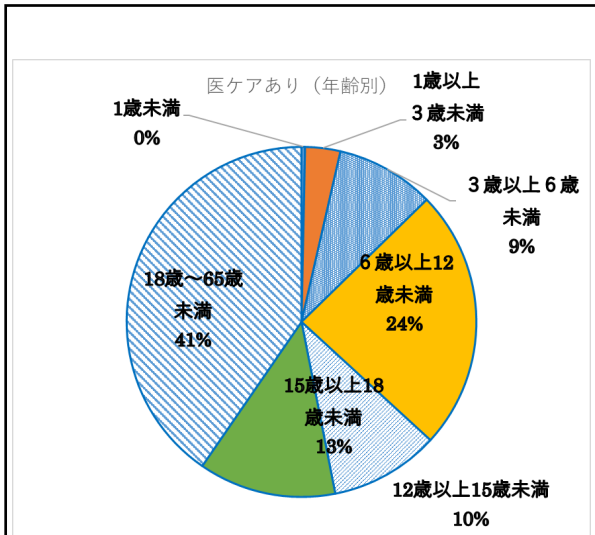
エ 時期

令和6年6月から令和7年3月末まで（令和6年6月から募集開始）

4 医療的ケア児登録フォームの登録状況について

登録者数（令和6年7月9日時点）：425人

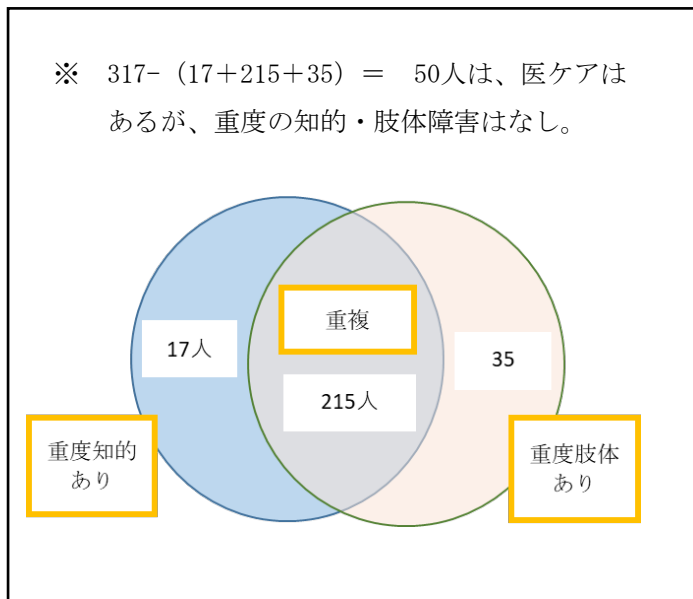
①年齢別及び医療的ケアの有無



②区別及び医療的ケアの有無（人）

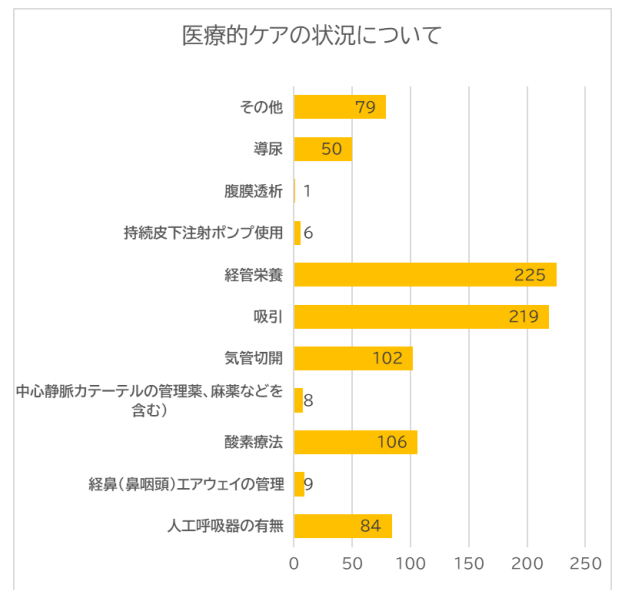
区名 × 医療的ケアの有無						
区名	医ケアあり	医ケアなし	未記入	計		
鶴見区	21 6.6%	12 11.2%	0 -	33	7.8%	
神奈川区	16 5.0%	2 1.9%	1 100.0%	19	4.5%	
西区	13 4.1%	4 3.7%	0 -	17	4.0%	
中区	10 3.2%	3 2.8%	0 -	13	3.1%	
南区	24 7.6%	2 1.9%	0 -	26	6.1%	
港南区	14 4.4%	8 7.5%	0 -	22	5.2%	
保土ヶ谷区	15 4.7%	4 3.7%	0 -	19	4.5%	
旭区	21 6.6%	9 8.4%	0 -	30	7.1%	
磯子区	15 4.7%	1 0.9%	0 -	16	3.8%	
金沢区	16 5.0%	0 0.0%	0 -	16	3.8%	
港北区	38 12.0%	16 15.0%	0 -	54	12.7%	
緑区	13 4.1%	13 12.1%	0 -	26	6.1%	
青葉区	21 6.6%	9 8.4%	0 -	30	7.1%	
都筑区	21 6.6%	6 5.6%	0 -	27	6.4%	
戸塚区	23 7.3%	7 6.5%	0 -	30	7.1%	
栄区	11 3.5%	2 1.9%	0 -	13	3.1%	
泉区	12 3.8%	7 6.5%	0 -	19	4.5%	
瀬谷区	13 4.1%	2 1.9%	0 -	15	3.5%	
計	317 100.0%	107 100.0%	1 100.0%	425	100.0%	

③医療的ケア有りとは回答した方（317人）のうち、重度知的障害と重度肢体障害がある方



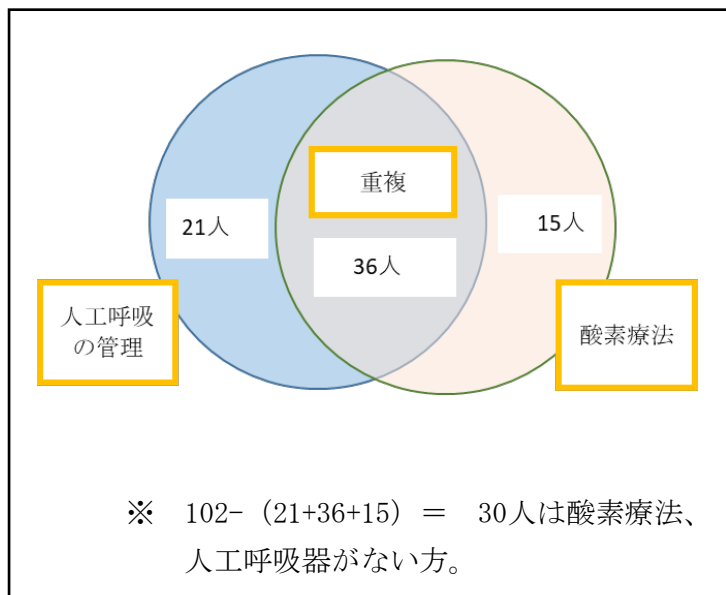
④医療的ケアの状況について

単位：人



（参考）障害の重複状況について

① 気管切開の方（102人）の医療的ケア重複状況



②人工呼吸器と経管栄養の重複状況

